誤差を測定できるものであって、〇・一分の精度で位相角を測定できるもの	日本産業規格Ｃ一二一一―二、Ｃ一二一六―二、Ｃ一二七一―二及びＣ一二七二―二に規定する器差試験並びに日本産業規格Ｃ一七三六―二に規定する比誤差及び位相角の測定を行うため、力率零から一までの範囲で百ボルトアンペアまでの皮相電力を消費できるもの	日本産業規格Ｃ一二一一―二、Ｃ一二一六―二、Ｃ一二七一―二、Ｃ一二七二―二及びＣ一七三六―二に規定する試験の周波数、電圧及び電流を発生させることができるもの

誤差を測定できるものであって、〇・一分の精度で位相角を測定できるもの	日本産業規格Ｃ一二一一―二、Ｃ一二一六―二、Ｃ一二七一―二及びＣ一二七二―二に規定する器差試験並びに日本産業規格Ｃ一七三六―二に規定する比誤差及び位相角の測定を行うため、力率零から一までの範囲で百ボルトアンペアまでの皮相電力を消費できるもの	日本産業規格Ｃ一二一一―二、Ｃ一二一六―二、Ｃ一二七一―二、Ｃ一二七二―二及びＣ一七三六―二に規定する試験の周波数、電圧及び電流を発生させることができるもの

	力率零から一までの範囲で百ボルトアンペアまでの皮相電力を消費できるもの	定格周波数において、定格電圧の百十パーセントまでの電圧及び定格電流までの電流を発生できるもの